

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年10月5日～2017年10月11日)

平成 29 年(2017 年)10 月 13 日

H E A D L I N E S
<p>政治</p> <p>司法制度改革関連法案をめぐる動き 最新の世論調査結果 ゴヴィン副首相による新党設立の発表 新しい再民営化法案の発表 若手医師のストライキをめぐる動き ポーランド・仏欧州担当大臣会談 ポーランド・スイス幕僚会合開催 ブルガリア大統領のポーランド訪問 マチェレヴィチ国防大臣、ルブリンの合同旅団司令部を訪問 中欧9か国外相会合 ポーランド・モンテネグロ外相会談 ポーランド・ブルガリア外相会談 エストニア国防大臣のポーランド訪問 マチェレヴィチ国防大臣、1,000人規模のサイバー防衛部隊の設置を計画と発言 コブナツキ国防副大臣、ウクライナ訪問</p>
<p>治安等</p> <p>内務・行政省、政府機関専用高速通信ネットワークの構築を発表 ヴァドヴィツェで移民受入反対派と賛成派が相次いでデモ行動を実施 国境警備隊、偽造旅券で入国を試みたパキスタン人を拘束 銃規制緩和に関する議論 シドゥウォオ首相、首相府でのサイバーセキュリティ担当部署設置を発表 反汚職庁、ワルシャワ市内のナイトクラブを強制捜索 国境警備隊、エジプト人不法入国者を拘束</p>
<p>経済</p> <p>閣僚会議常設委員会、ビジネス憲章を承認 政府、燃料税の徴収計画を断念 中央空港建設計画に関し、政府内で意見対立 休暇取得に関する規則の変更を検討 9月の失業率 IMF、ポーランドの経済成長率見通しを上方修正 国営企業ポーランド天然ガス・石油グループ(PGNiG)、エネルギー分野の予算拡大 PKP貨物、中国企業との協力を示唆 ピオトロフスキ・エネルギー次官、夜間電力税導入計画を発表 トフジェフスキ・エネルギー大臣、EUウィンターパッケージの影響を懸念</p>
<p>大使館からのお知らせ</p> <p>長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 旅券(パスポート)の管理及び携行義務に関する注意喚起 欧州でのテロ等に対する注意喚起 「たびレジ」への登録のお願い パスポートダウンロード申請書の御案内 大使館広報文化センター開館時間 文化行事・大使館関連行事</p>
<p>ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp</p>

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救済の根拠となります。問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

司法制度改革関連法案をめぐる動き【6日・10日】

6日、ドゥダ大統領は大統領官邸にて、カチンスキ与党「法と正義」(PiS)党首と2時間にわたり会談を行い、大統領の提出した司法制度改革関連法案について議論した。10日、同会談を受け、PiSは同法案に対する自党の修正案を大統領宛に送付した。

最新の世論調査結果【9日】

9日に発表された世論調査機関IBRiSによる調査結果によると、与党「法と正義」(PiS)が40%(先月比+2%)の支持率で引き続き首位を獲得した。第2位の最大野党・市民プラットフォーム(PO)は支持率21%(同+1%)、第3位の「近代」は支持率9%(同±0%)であった。第4位は「クキス'15」で支持率7%(同-1%)、第5位は民主左翼連合(SLD、議会外政党)で支持率5%(同-1%)、第6位には農民党(PSL)が入り、支持率は4.2%(-1%)に留まった。

ゴヴィン副首相による新党設立の発表【10日】

10日、ゴヴィン副首相兼科学・高等教育大臣(連立与党「ポーランドと共に」党首)は、現在の党員に

自由市場支持者及び野党市民プラットフォーム(PO)の地域活動家等を加え、近く新党を設立する旨発表した。党名はまだ発表されていないが、11月下旬に新党の党大会の開催が予定されている。

新しい再民営化法案の発表【11日】

11日、ヤキ法務副大臣は、共産主義政府により国有化された土地の再民営化問題の解決に向け、再民営化法案を発表した。同案では、国有化された土地及び建物の所有者は、新法の施行後1年間に限り、国有化された不動産の価格の20%の現金又は25%の債券で補償を要求することができる。他方、土地や建物の返還は認められない。同案は今後閣議で審議され、国会に送付される予定である。

若手医師のストライキをめぐる動き【11日】

1日、若手医師のグループは、賃金の引き上げ及び医療分野予算の対GDP比6.8%への拡大を要求するストライキを開始し、一部はハンガーストライキを決行した。同グループはシドゥウオ首相との会談を要請し、11日に同会談が実施されたが両者間で合意に至らず、ストライキは継続されることとなった。

外交・安全保障

ポーランド・仏欧州担当大臣会談【4日】

4日、シマンスキ外務副大臣は、ロワゾー仏欧州問題担当大臣と会談し、二国間関係、派遣労働者に関するEU指令、欧州の将来、BREXIT、欧州のエネルギー政策及びワイマール・トライアングル協力について意見交換した。

ポーランド・スイス幕僚会合開催【4~5日】

4~5日、ポーランド参謀本部防衛計画(J5)部長・ブワジェシュ准将は、ポーランド訪問中のスイス参謀本部国際協力部長マーダー准将と両国間として初めてとなる幕僚会合を開催し、二国間防衛協力、装備技術協力について意見交換を行った。

ブルガリア大統領のポーランド訪問【5日】

5日、ドゥダ大統領及びシドゥウオ首相は、ポーランド訪問中のラデフ・ブルガリア大統領と会談し、EUの将来について意見交換を行った。ドゥダ大統領は、移民危機に対する両国の立場は同様であり、難民の再移転のメカニズムに反対し、EUの国境を守り、移民・難民に対して現地での支援を実施すべきである旨述べた。また同大統領はラデフ大統領と共に、ポーランド・ブルガリア経済フォーラムの式典に出席

したほか、ロソマック装甲車等の装備技術協力、今回のNATO首脳会合にかかる協力等についても意見交換を行った。

マチェレヴィチ国防大臣、ルブリンの合同旅団司令部を訪問【5日】

5日、マチェレヴィチ国防大臣は、ルブリンを訪問し、リトアニアのカロピス国防大臣及びウクライナのポルトラック国防大臣と協議を行い、防衛協力協定に署名するとともに、同市に駐屯するリトアニア・ポーランド・ウクライナ合同旅団司令部を訪問し、設立2周年記念行事に参加した。

中欧9か国外相会合【9日】

9日、ヴァシチコフスキ外相は、ワルシャワにおいて開催された、ポーランド、ルーマニア、エストニア、リトアニア、ラトビア、スロバキア、チェコ、ハンガリー及びブルガリアの中欧9か国の第二回外相会合に出席した。本会合では、参加した9か国の新たな安全保障上の脅威及び課題、それに対する措置、2018年に開催予定のNATO首脳会合に向けた準備及びEU内における安全保障関連の構想について意見交換した。

ポーランド・モンテネグロ外相会談【9日】

9日、ヴァシチコフスキ外相は、ワルシャワにおいて、ポーランド訪問中のダルマノビチ・モンテネグロ外相と会談し二国間関係、EUの拡大及び地域協力を主題に会談した。

ポーランド・ブルガリア外相会談【9日】

9日、ヴァシチコフスキ外相は、ワルシャワにおいて、「ブカレスト9」外相会合に合わせてポーランド訪問中のザハリエヴァ・ブルガリア外務副大臣と会談し、二国間関係及び欧州の安全保障を主題に意見交換した。

エストニア国防大臣のポーランド訪問【9日】

9日、マチェレヴィチ国防大臣は、ポーランド訪問中のルイク・エストニア国防大臣と会談を行い、NAT

O大隊、海軍、防空及びサイバー防衛の協力等について意見交換を行った。

マチェレヴィチ国防大臣、1,000人規模のサイバー防衛部隊の設置を計画と発言【10日】

10日、マチェレヴィチ国防大臣は、クラクフにて開催されたサイバーセキュリティ会議において、サイバー攻撃に対応するため、2年以内に1000名規模のサイバー防衛部隊を設置する計画で、同計画に20億ズロチの予算を配当する予定である旨述べた。

コブナツキ国防副大臣、ウクライナ訪問【11日】

11日、コブナツキ国防副大臣は、ウクライナを訪問し、キエフで開催中の第14回国際武器展示会に参加するとともに、パブロフスキ・ウクライナ国防副大臣と更なる防衛技術協力について協議を行った。

治 安 等**内務・行政省、政府機関専用高速通信ネットワークの構築を発表【5日】**

5日、内務・行政省は、当地の通信事業者Exatellに、消防、警察、地方自治体を結ぶ高速ブロードバンドネットワークの構築を発注した。契約額は2億ズロチ相当で、同ネットワークには約4,000の政府機関アドレスが登録され、ネットワーク上で、国民識別番号(PESEL)、警察通報に関する情報がやり取りされる。

ヴァドヴィツェで移民受入反対派と賛成派が相次いでデモ行動を実施【7日】

7日夕方、マウオポルスカ県ヴァドヴィツェで、ポーランドへの移民受け入れを主張する民主主義擁護委員会(KOD)の活動家約30人が、与党「法と正義」(PiS)に対する抗議デモを実施した。同地では、前日、イスラム系移民排斥を訴えるポーランド若者連合が、イスラム系移民はポーランドの平安を乱しテロを助長するなど主張する抗議デモを開催しており、今時デモはこれに対するカウンターアクションと見られる。

国境警備隊、偽造旅券で入国を試みたパキスタン人を拘束【7日】

7日、国境警備隊はワルシャワ・モデリン空港で偽造パキスタン旅券と偽造ギリシア在留許可証を使用してポーランド入国を試みたパキスタン人を拘束した。同パキスタン人は、容疑を認め、偽造書類はアテネで数千ユーロで購入したもので、ポーランドを経由してスペインに渡る計画だったと供述している。モデリン空港では、今年9月にも、偽造ギリシア在留許可証を使用してポーランド入国を試みたパキスタン人

が拘束されている。

銃規制緩和に関する議論【8日】

ティゴドニク・ポフシャフネ誌によれば、今年春に「クキス'15」が議会に提出し審議保留となっている銃規制緩和案に関し、与党「法と正義」(PiS)は米国の憲法修正第2条に類似した独自の改正案を準備しているとされる。近年、ポーランドでは標的射撃や狩猟などのスポーツ・シューティングの人気の高まっているが、現行法では銃器所持ライセンス発行手続きが煩雑で時間を要するため、狩猟協会等から銃規制緩和を求める声が高まっている。他方、ポーランドに銃所持の伝統がないことや銃管理に関する社会資本が不足していることなどを理由に、規制緩和に反対する意見もある。

シドゥウォ首相、首相府でのサイバーセキュリティ担当部署設置を発表【9日】

9日、クラクフで開催された欧州サイバーセキュリティ会議に出席したシドゥウォ首相は、昼食会の席上で、首相府内にサイバーセキュリティ担当部署を新設する旨表明した。同首相は、サイバーセキュリティ担当部署は、欧州各国で首相府の指揮下で設置されている、サイバーセキュリティは、経済や安全保障、国家の平安に関わる問題で、現代社会における最重要懸案の1つであると述べた。

反汚職庁、ワルシャワ市内のナイトクラブを強制捜索【10日】

10日深夜、反汚職庁(CBA)はワルシャワ市中心部の新世界通りのナイトクラブに対する強制捜索を実施し、10万ユーロ相当の賄賂の受け渡し未遂の

容疑でビジネスマン3人及び警察官1人を拘束した。CBAは、警察の捜査打ち切りをめぐる贈賄事件として、同事案に関する捜査を進めている。

国境警備隊、エジプト人不法入国者を拘束【11日】
11日、国境警備隊は、ヴィエルコポルスキエ県ノ

ヴィトミシュラでエジプト人不法入国者を拘束した。同エジプト人はドイツに難民申請中で、呼び止められた際、暴れるなどして抵抗したため、国境警備隊員は手錠及び物理的手段を用いて同人を無力化した。同エジプト人は、ダブリン規約に基づき、ドイツに送還される。

経 済
経済政策

閣僚会議常設委員会、ビジネス憲章を承認【5日】
開発省広報担当官は、閣僚会議常設委員会がビジネス憲章(Constitution for Business)を5日に承認したが、複数の課題については政府の決定に委ねられたと述べた。同法案の中には、企業オンブズマンの設置や新企業に優遇税制措置を設けることなどが含まれている。

政府、燃料税の徴収計画を断念【5日】
アダムチク・インフラ・建設大臣は、政府は燃料費の徴収計画を断念し、地方政府による道路インフラ建設事業を支援するための代替案を近々提示すると語った。燃料税の徴収計画は、燃料価格を1リットル当たり20グロシュ上乘せする計画で、40~50億ズロチの追加歳入が得られる見込みであったが、運転手や輸送会社が反発していた。

中央空港建設計画に関し、政府内で意見対立【6

日】
中央空港建設計画に含まれる鉄道整備に関し、ヴィルド同事業担当政府委員とインフラ・建設省は鉄道インフラの拡張範囲を巡って異なる見解を有していると報道された。ヴィルド委員は、計画を予定どおりに進めるためには、中央空港建設計画に関する特別法を2017年末までに通過させる必要があると述べた。

休暇取得に関する規則の変更を検討【9日】
労働法検討委員会の副議長によると、労働規約の改正が検討されている。改定の内容には、全従業員の休暇日数の統一化、休暇取得の義務化、退職通知期間中の休暇の強制取得の防止等が含まれる。休暇日数は、現行標準の26日で統一される見込み。ラファルスカ家族・労働・社会政策大臣は、具体的な解決策は未だ提案されておらず、省内での作業は開始されていないと述べた。

マクロ経済動向・統計

9月の失業率【5日】
家族・労働・社会政策省は、9月の失業率を6.9%(前月比0.1%減)、登録失業者数を約111.7万人と発表した

IMF、ポーランドの経済成長率見通しを上方修正【11日】
国際通貨基金(IMF)は、2017年のポーランド

のGDP成長率見通しを3.8%に上方修正した(当初見通しより0.4%増)。2018年の経済成長率は2017年より鈍化する見通しで、3.3%と予測している(当初見通しは3.2%)。また、IMFは経常収支赤字の対GDP比率について、2017年は1%、2018年は1.2%、失業率は引き続き低下する見通しで、2017年は4.8%、2018年は4%と予測している。

ポーランド産業動向

国営企業ポーランド天然ガス・石油グループ(PGNiG)、エネルギー分野の予算拡大【10日】
PGNiGは、複合発電施設の発電を重点戦略に定め、2017年~2022年における熱・エネルギー販売量を20%増加させる計画を発表した。三菱日立パワーシステム(MHPS)社とポリメックス社がコジェニツェに450MW級の石炭ガス化複合発電(Integrated Coal Gasification Combined Cycle, IGCC)を建設予定であるほか、電力会社タウロン社がスワロワにも同等の

発電所建設を予定している。また、プシェムイシルでのガス燃料発電所建設も予定されている。

PKP貨物、中国企業との協力を示唆【10日】
PKP貨物CEOは、中国企業と会談し、最近調印したポーランドと中国間の郵便協力契約を支援するため、物流システムの近代化及びターミナル建設を予定していると発言した。ウクライナ、カザフスタン、ジョージア、アゼルバイジャンを経てポーランド・ベラルーシ

間国境に至る代替運送ルート整備で、年500～1,500万トン貨物量増加が見込まれる。また、PKP貨物

は、中央空港近辺のターミナル再整備を希望している。

エネルギー・環境

ピオトロフスキ・エネルギー次官、夜間電力税導入計画を発表【10日】

ピオトロフスキ・エネルギー省次官は、今季からエネルギーに関する夜間特別税が導入され、関連法案は数週間で草案される予定と述べた。また、原発に関しては、2017年末までに原子力計画を決定し、最初の技術的審査は2018年第1四半期に実施予定と述べた。入札の基礎となる技術要件等を策定した後、2018年末までに技術供与者の選定が行われる。電源構成を含めた新エネルギー政策は、数か月以内に発表される予定で、現時点におけるエネルギー需要の増加は平均年2.8%を想定しているが、電気自動車普及すれば、更に高くなる可能性があるとして

いる。

トフジェフスキ・エネルギー大臣、EUウィンターパッケージの影響を懸念【12日】

トフジェフスキ・エネルギー大臣は、ウィンターパッケージに関するポーランドとEUとの交渉終了を発表した。同パッケージには、放射能測定システムの全国的導入というメリットはあるが、二酸化炭素排出量が550kg/MWh以上の発電所については、公的援助が禁止される等の影響がある。トフジェフスキ大臣は、ポーランド国内の電力消費量は増加傾向にあり石炭の生産を削減することはできない。本計画の実施を遅らせることを希望すると述べた。

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先を御覧ください。

http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_schengen_2.html

旅券(パスポート)の管理及び携行義務に関する注意喚起

パスポートの入ったバッグは身体から離さない、目を離さない、バスや地下鉄の車内ではリュック等は身体の前で抱える、といった注意を心がけてください。

万が一パスポートの紛失・盗難に遭った場合は、直ちに現地の警察に赴き、紛失届あるいは被害届を提出するとともに、いずれかの写し又は紛失・被害証明を入手し、日本国大使館又は総領事館の領事窓口まで御連絡ください。多くの国や地域では、外国人はパスポートを常時携行することが法律で義務付けられています。違反すると罰金等を科されることもありますので注意してください。

欧州でのテロ等に対する注意喚起

欧州では、本年に入ってからテロ事件が相次いで発生しており、特にイスラム教のラマダン期間(5月下旬～6月下旬)頃にはテロ事件が続発しました。ラマダン期間は終わりましたが、8月17日(現地時間)にはスペイン・バルセロナ中心部の観光地で多くの人が犠牲となる車両突入テロ事件が発生したほか、10月1日(現地時間)にもフランス・マルセイユの鉄道駅で刃物による歩行者襲撃事件が発生するなど、引き続き更なるテロの発生が懸念されます。

観光客やイベント等を標的とするテロに警戒する必要があることに加え、イベント等の警備のため手薄となった他の都市でのテロの実行も懸念されます。以上を踏まえ、以下のテロ対策をお願いします。

(1)外務省が発出する海外安全情報及び現地報道等で最新の治安情勢等の関連情報の入手に努めるととも

に、日頃から注意を怠らないようにする。

(2) 以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。

観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等。

(3) 上記(2)の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

(4) 現地当局の指示があればそれに従う。特にテロに遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き冷静に行動するように努める。

(5) 不測の事態の発生を念頭に、訪問先の出入口や非常口、避難の際の経路、隠れられる場所等についてあらかじめ入念に確認する。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

「たびレジ」への登録のお願い

3か月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3か月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施してください。渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

下記リンク先から「たびレジ」に登録することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

パスポートダウンロード申請書の御案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、御自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先を御覧ください。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/download/top.html>

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【開催中】国交回復60周年記念日本・ポーランド交流史パネル展【10月5日(木)～20日(金)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、戦後の日本とポーランドにおける外交・文化・経済関係の歩みを紹介する写真パネル展が開催中です。入場無料。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa) (* 平日の開館時間内)

【予定】第31回欧州極真空手選手権【10月13日(金)～14日(土)】

シフィノウイシチェ市にて、シフィノウイシチェ市極真空手アカデミー主催による『第31回欧州極真空手選手権』が開催されます。

開催場所: 西ポモージェ県, シフィノウイシチェ市, Radisson Blu Resort, ul. Aleja Baltic Park Molo 2

詳細: <http://akademiakyokushin.com/>

【予定】 欧州極真空手選手権大会【10月14日(土)～15日(日)】

ジェシュフ市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『世界極真武道会(WKB)による欧州極真空手選手権大会』が開催されます。

開催場所: ジェシュフ市, ul. Miłocińska 42

詳細: <http://www.karate.lezajsk.pl/>

【予定】 第11回ワルシャワ大学日本祭【10月16日(月)～ 18日(水)】

ワルシャワ市にて、ワルシャワ大学東洋学部日本学科主催による『第11回ワルシャワ大学日本祭』が開催されます。日本に関する講演会及び学術発表が予定されています。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, ワルシャワ大学図書館, 316教室, ul. Dobra 56/66

詳細: <http://japonistyka.orient.uw.edu.pl/dni-japonii/>

【予定】 国際会議「ポップリアリティー: 日本人の目を通して見た日本, 世界の目を通して見た日本」【10月16日(月)～17日(火)】

クラクフ市にて、ヤギェロン大学中東極東研究所日本語日本文化政治部主催による国際会議『ポップリアリティー: 日本人の目を通して見た日本, 世界の目を通して見た日本』が開催されます。様々な講演が予定されています。

開催場所: クラクフ市, ヤギェロン大学図書館, ul. Mickiewicza 22

詳細:

<http://unikonferencje.pl/konferencja/7971-pop-reality-japan-through-the-eyes-of-japanese-japan-through-the-eyes-of-the-world>

【予定】 欧州相撲選手権大会(ユース: U14～U18)【10月20日(金)～22日(日)】

ワルシャワ市にて、ポーランド相撲連盟主催による『欧州相撲選手権大会 (ユース: U14～U18)』が開催されます。

開催場所: ワルシャワ市, ul. Poezji 5

詳細: <http://www.sumo.org.pl>

【予定】 現代書の行方展【10月23日(月)～26日(木)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、神戸大学書道研究会のメンバーによる書展が開催されます。23日(月)17時から書道デモンストレーション・お茶会が行われます。 入場無料。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa) (* 平日の開館時間内)

本資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまで御連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますので御了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先Eメールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のEメールアドレスまで御連絡ください。大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

本資料に関する問い合わせ E メールアドレス (newsmail@wr.mofa.go.jp)